

創立 120 周年記念事業 募金趣意書

謹啓、同窓会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、母校並びに同窓会のため、格別なるご協力ご支援を賜り、厚く感謝申し上げます。

母校は、日露戦争戦勝の翌明治 39 年（1906 年）5 月 10 日、殖産興業の一翼をになうべき、松代町立乙種農業学校として開校致しました。

その後幾多の変遷を経、終戦後の昭和 23 年（1948 年）には学制改革により、それまでの商業学校と高等女学校が統合し、商業科と普通科からなる新制「長野県松代高等学校」となりました。

この間、母校の卒業生は、およそ 2 万 3 千名余を数え、県内や国内はもとより国外、でも活躍する人材を輩出してまいりました。まことに喜ばしいことと存じます。

さて、母校が 120 周年を迎えるにあたり、それを慶祝し、その良き伝統を引き継ぎ、将来の更なる発展を期するため、同窓会・PTA・学校の 3 者からなる「創立 120 周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、別記記念事業を実施することといたしました。

この記念事業実現のためには、多額の資金を必要とし、同窓会員の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力をお願いしなければなりません。

何卒、この事業の趣旨にご賛同いただき、募金のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和 6 年 10 月

長野県松代高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会

委員長（同窓会長） 細川 隆男

副委員長（校長） 向井 健太郎

副委員長（PTA 会長） 宮澤 洋介